

# 健康 里から づくりの

## ご自宅での療養生活に不安を感じていませんか

「体調がすぐれなくても住み慣れた家で過ごしたい」そんな思いを抱いたときに頼ってほしいのが『訪問看護師』です。

糖尿病の自己管理がうまくできない、お薬の管理が難しい、酸素吸入や胃ろうなどの医療処置が必要だけども心配、自宅で最期まで見てあげたいなど、不安や悩みはさまざまだと思います。

訪問看護師は、ご自宅で安心して過ごせるように一人ひとりに合わせた心のこもった看護サービスを心掛けています。

過去には、ご自宅で最期をお看取りされたご家族より「入院中ずっと家に帰りたいたいと言っていた。最期は家にいられて良かった。訪問に来てくれた看護師さんといつでも連絡が取れたので安心できました。」とお言葉をいただきました。

年齢問わずご利用いただけますので、主治医やケアマネージャー、または当ステーションへお気軽にご相談ください。（※主治医の訪問看護指示書が必要）

問い合わせ  
東庄町  
訪問看護ステーション  
☎79-0913・☎80-3300



「死ぬかもしれない時のこと」を考えたことはありますか？  
みんないつかは死ぬにもかかわらず、考えたことがない方が多いかと思いませんか？

新型コロナウイルス感染症の流行により、若者ですら1ヶ月後に元気で生きているかわかりません。早い終息を願ってやみませんが、いざという時に困らないように、お話しします。

①死ぬかもしれない時の状況



国保東庄病院  
おざわ かずよ 医師

## 人生会議のすすめ

さまざまな状況がありえますが、共通するのは「説明を聞いて、決断するのは自分ではないかもしれない」ということです。不測の病や事故の時ほど、各治療の効果と危険性を聞いて意思決定をしなければいけません。本人は意識がない、または意識はあるが判断できない状況になりやすく、一方で「今すぐ」の決断を求められます。本人が同意できる状況でない

場合は、本人をよく知る代理人（家族や友人など）に決めてもらうこととなりますが、現場では、代理人の方が「話し合ったことがなく、どうしていいかわからない」と苦悩されているのをよくお見かけします。

②いざという時の備え  
その一つが「人生会議」です。人生会議とは、「年齢・病気の状態にかかわらず、今後の治療や人生の目標・価値について患者・家族・医療従事者があらかじめ話し合い、共有する一連の過程（ステップ）」です。

ステップ1 自身の大切にしたいことを明らかにする  
ステップ2 いざという時の決断を託したい人は、誰かを明らかにする  
ステップ3 1と2を周り

の人や主治医に伝える  
具体的には

- ・生きていられる時間が限られるならば、大切にしたいことは何か？
- ・自分が重体や危篤になったら、どんな医療やケアを受けたいか？
- ・「生き続けることがつらい」と感じるのとはどんな状況か？その時はどう過ごしたいか？
- ・病状などにより、自分で判断できない時に、代わりに医療やケアについて話し合ってもらう人は誰か？
- ・などを家族・友人・かかりつけ医の力を借りながら考え、思いを共有していくことが大事です。

東庄病院 ☎1177



内科	月～金曜日の午前および第1・第3土曜日の午前 (受付時間は午前11時まで)
整形外科	火曜日の午前 (予約制)

※救急患者については、休診日および時間外でも24時間体制で診療しますので、電話連絡のうえ来院してください ☎86-1177